

(別紙)

国史跡江戸城石垣石丁場跡の保存・活用に係る照会

(平成29年7月6日)

*当保存会の提言に対するご回答(「伊教生第322号」平成28年12月20日付)をいただいていることから、約半年が経過しましたことから以下の事項について照会するものです。

(1)平成28年度中に「国指定史跡 江戸城石垣石丁場跡」の名前を入れた看板を設置する予定である旨のご回答をいただいたところですが、平成28年度中に設置することができなかった理由は何でしょうか。また、今後同看板は設置するのでしょうか。

(2)「保存活用計画」の策定に向けた委員会を設け、討議を重ねるよう検討する旨のご回答をいただいたところですが、同委員会の設置はどの程度ご検討されているのでしょうか。

また、「保存活用計画」を策定する上で、国史跡に関係する他自治体との調整も必要である旨伺っているところですが、他自治体との調整はどの程度進んでいるのでしょうか。

平成29年6月14日発行の伊豆新聞熱海版に、「中張窪石丁場」に関して、「来年度策定に着手する保護と整備に関する基本計画」の資料とするため測量などの基礎調査を行うとの記事がありますが、これは熱海市が「保存活用計画」の策定を先行しているということでしょうか。

(3)国史跡周知のための生涯学習講座及び出前講座などは今後も回数を重ね更なる周知を図っていく旨のご回答をいただいたところですが、平成29年度の国史跡の周知に係る生涯学習講座及び出前講座などの開催回数はどうでしょうか。

(4)国史跡の保存・活用に係る行政と市民の協力体制について、文化財の保存・活用は、行政と市民が一体となることが望ましく、今後もどの

ように連携できるか検討する旨のご回答をいただいたところですが、連携の体制等についてどの程度検討されているのでしょうか。

（５）国史跡の教育活用について、学校現場と協議しながら、どのように反映させることができるか検討する旨のご回答をいただいたところですが、学校教育に国史跡を反映させる方策等についてどの程度検討されているのでしょうか。

（６）「歴史文化基本構想」について、多くの方のご意見を伺いながら検討する旨のご回答をいただいたところですが、どのような方から意見聴取をしたのでしょうか。また、「歴史文化基本構想」の策定に向けてどの程度検討されているのでしょうか。

以上